

基本的なコール処理

機能やサービスを使用する基本的なコール処理を実行することができます。機能の Availability が異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

次に、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を紹介합니다。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げて、番号を入力します。	電話機の概要 (P.7)
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.53)
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。または、  が点灯している場合、 [発信] を押し、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.53)
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押し、最後の番号をダイヤルするか、または、電話機がアイドルの状態ではナビゲーション ボタンを押し、発信履歴を参照します。	履歴の使用方法 (P.58)
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (同じ回線を使用)	<ol style="list-style-type: none">[保留] を押します。[発信] を押します。番号を入力します。	コールの保留と復帰 (P.24)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> > [不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。リストの番号を選択するかまたはスクロールして選択し、オフフックにします。	履歴の使用方法 (P.58)

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げるか、[ダイヤル]、またはを押して、オフフックにします。
- プレダイヤルする場合、この電話機には、発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルを使用し、表示された番号をコールするには、番号を押すか、または番号をスクロールしてオフフックにします。
- 間違ってダイヤルした場合は、<<を押して、番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にビーブ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：その他のオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信することができます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（異なる回線を使用）	<ol style="list-style-type: none"> 新しい回線で  を押します。最初のコールは自動的に保留状態になります。 番号を入力します。 	コールの保留と復帰 (P.24)
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">  (短縮ダイヤル ボタン) を押します。 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 ファースト ダイヤル機能を使用します。 	短縮ダイヤル (P.38)
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  > [社内ディレクトリ] を選択します(名前は異なる場合があります)。 名前を入力して [検索] を押します。 リストを強調表示し、オフフックにします。 	履歴の使用方法 (P.58)
Cisco WebDialer を使用し、パーソナル コンピュータ上の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 ダイヤルする番号をクリックします。 	Cisco WebDialer の使用方法 (P.78)
話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに、Cisco CallBack を使用して通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し] を押します。 切断します。回線がフリーの状態のときは、電話機により通知されます。 再びコールを発信します。 	システム管理者
短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストに関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。	BLF の使用による回線の状態の判断 (P.46)

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
プライオリティ (precedence) コールを発信する (SCCP 電話機のみ)	MLPP アクセス番号を入力し、電話番号を入力します。	重要なコールの優先順位付け (P.49)
Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。 [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。 	電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法 (P.63)
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する (SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 番号をダイヤルします。 トーンの後、CMC (Client Matter Code)、または FAC (Forced Authorization Code) コードを入力してから番号をダイヤルする必要があります。 	システム管理者
Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機の Cisco エクステンション モビリティ サービスにログインします。	Cisco エクステンション モビリティ の使用方法 (P.50)
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。 会社の IP Phone に発信するために 1 を押します。 デスクトップの電話番号にダイヤルします (自分のデスクトップの番号以外)。 <p> (注) モバイル ボイス アクセスを使用してコールを発信する前に、システム管理者からモバイル ボイス アクセスの番号とエンドユーザの PIN を入手します。</p>	P.51 の「1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」を参照してください。

ヒント

モバイル ボイス アクセスを使用してコールを発信する前に、システム管理者から次の情報を入手してください。

- モバイル ボイス アクセスの番号
- エンドユーザの PIN

コールへの応答

ハンドセットを取り上げて、コールに応答することができます。または、電話機のその他のオプションが利用可能な場合、それらを使用することができます。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ヘッドセットで応答する	 が点灯していない場合は、押します。  がすでに点灯している場合は、[応答] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.53)
スピーカフォンで応答する	 、[応答]、または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.53)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	コールの保留と復帰 (P.24)
コール ウェイティングを使用して応答する	[応答] を押します。	コールの保留と復帰 (P.24)
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。	ボイス メッセージ システムへのコールの送信 (P.29)
自動接続コール	自動応答を使用します。	自動応答の使用方法 (P.55)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークまたはダイレクト コール パークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.41)
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	自分の電話機で他の電話機の着信に応答 (P.39)
プライオリティ コールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [応答] を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.49)

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
携帯電話または他のリモート接続先でコールに应答する	<p>モバイル コネクトを設定して電話に应答します。</p> <p>モバイル コネクトを有効にした場合の動作は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。 • デスクトップの電話機でコールに应答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 • 1 つのリモート接続先でコールに应答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 	P.51 の「1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」を参照してください。

ヒント

コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの終了

コールを終了するには、切断します。詳細を次に示します。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [終了] を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押します。ヘッドセット モードをアクティブに保持する場合は、[終了] を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [終了] を押します。
複数のコールがある場合に 1 つのコールだけを切断する	[終了] を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールを保留および復帰することができます。コールを保留にすると、保留アイコンが発信者 ID の横に表示され、対応する回線ボタンが緑に点滅します。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間経過後に電話機に復帰し、呼出音が鳴ります。これらの「復帰」コールは、保留解除されるまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる）を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータス バーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する
- 保留コールの発信者 ID の横に保留復帰アイコンの動画を表示する
- 点滅するオレンジの回線ボタン（回線の状態によって異なる）を表示する

目的	必要な操作または状態の説明
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2. [保留] を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2. [復帰] を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当する回線ボタンまたは（点滅）を押します。この操作により、保留コールが自動的に復帰する場合があります。<ul style="list-style-type: none">－ 回線に復帰コールが 1 つある場合、そのコールは保留解除されません。－ 回線に復帰コールが複数ある場合、最も古い復帰コールが保留解除されます。－ 復帰していない保留コールだけが回線にある場合、このコールが保留解除されます。2. 必要に応じて、該当するコールまでスクロールし、[復帰] を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットでミュートを使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
マイクフオンをオンにする	 を押します。
マイクフオンをオフにする	 を押します。

複数のコール間の切り替え

1本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、ナビゲーション ボタンを使用してそのコールまでスクロールします。

目的	必要な操作または状態の説明
同じ回線で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 切り替えるコールが強調表示されていることを確認します。 [復帰]を押します。 アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。
異なる回線で接続されているコールを切り替える	<p>切り替え中の回線で を押します。</p> <p>この回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留の場合、該当するコールを強調表示し、[復帰]を押します。</p>
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	<p>[応答]を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、 (点滅)を押します。アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。</p>

進行中のコールを他の電話機に切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
進行中のコールをデスクトップの電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="458 386 1212 443">1. [モビリティ] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信] を選択します。<li data-bbox="458 459 1212 654">2. 進行中のコールに携帯電話で応答します。 デスクトップの電話回線ボタンが赤●に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールに同じ電話回線を使用することはできません。ただし、デスクトップの電話機が複数回線をサポートする場合は、別の回線を使用してコールの発信および受信が可能です。
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="458 678 1212 735">1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。<li data-bbox="458 751 1212 800">2. デスクトップの電話機で4秒以内に[復帰]を押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。

複数のコールの表示

電話機に複数のコールを表示する方法を理解することで、コール処理の計画に役立ちます。

標準表示モードで、この電話機は、次のように強調表示されている回線でコールを表示します。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

次に示すその他の方法を利用し、複数の回線の複数のコールを表示できます。

目的	必要な操作または状態の説明
別の回線のコールを表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押します。 2. すぐに回線ボタン  を押します。
コールの概要モードに切り替える	<p>強調表示されている回線で  を押します。</p> <p>電話機がコールの概要モードに切り替わり、回線ごとに1つのコールが表示されます。表示されているコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコールのいずれかです。</p> <p>標準表示モードに戻るには、 を押してから、すぐに回線ボタンを押します。</p>

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブ コールから、[転送] を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. [転送] を再び押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブ コールから、[転送] を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4. [転送] を再び押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する（直接転送、SCCP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none">1. その回線における任意のコールをスクロールして強調表示します。2. [選択] を押します。3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で [D 転送] を押します（[D 転送] を表示するために、必要に応じて [次へ] を押します）。 <p>2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。</p> <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに [参加] を使用します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[即転送] を押します。詳細については、 P.29の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」 を参照してください。

ヒント

- 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、切断してコールを完了するか、**[転送]** を押してから切断することができます。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、**[転送]** を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- **[転送]** を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。**[復帰]** を押して、転送前にコールの保留を解除してください。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送] を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、**[即転送]** を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、**[即転送]** でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、**[即転送]** を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	必要な操作または状態の説明
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	<p>[即転送] を押します。次のどちらかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。 • 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、**[即転送]** をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのすべてのコール転送

[不在] 機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	必要な操作または状態の説明
プライマリ回線のコール転送を設定する	[不在] または [不在転送] を押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	[不在] または [不在転送] を押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	次の表示を確認します。 <ul style="list-style-type: none">プライマリ電話番号の上のコール転送アイコン ステータス行でのコール転送の転送先番号
プライマリでない回線のコール転送をリモートで設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">ユーザ オプション Web ページにログインします (P.68 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。コール転送設定にアクセスします (P.76 の「Web での回線設定の制御」を参照)。 <p> (注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代替として、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。</p>

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送条件を変更できます。

サイレントの使用

サイレント機能を使用して、着信コールの呼出音が電話機で鳴らないようにブロックできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機で [サイレント] と [不在] の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

インターコム回線の場合は、サイレントがアクティブでも呼出音が鳴ります。

目的	必要な操作または状態の説明
サイレントをオンにする	[サイレント] または [サイレント]  を押します。 電話機に「サイレント」と表示され、サイレントを示す  が点灯し、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント] または [サイレント]  を押します。
サイレントの設定値をカスタマイズする	サイレントの設定値がユーザ オプション ページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.68 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. ドロップダウンメニューから [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 3. 次のオプションを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> — [サイレント]: サイレントを有効または無効にします。 — [DND 着信呼警告]: アラートをビープ音のみまたは点滅のみに設定するか、すべての表示および音声によるアラート通知を無効にします。

会議コールの使用法

Cisco Unified IP Phone では、3 つ以上の別個のコールを 1 つの会話に集めて、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の（アドホック）会議と Meet-Me 会議の 2 つのタイプがあります。

標準の会議コール

電話機のプログラマブル ボタンやソフトキーが使用可能である場合、必要に応じて、複数の方法で標準の会議を開催できます。

- **[会議]** ソフトキー または **[会議]** ボタン：このソフトキーまたはプログラマブル回線ボタンは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- **[参加]**：このソフトキーは、すでに同じ 1 本の回線にある複数のコールに参加することにより、標準の会議コールを開催するときに使用します（SCCP 電話機のみ）。
- **[C 割込]**：このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加し、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機だけに利用可能です。

手順の詳細については、[P.33 の「標準の会議の開催と参加」](#)を参照してください。

Meet-Me 会議コール

指定された時間に Meet-Me 電話番号にコールを発信して、Meet-Me 会議を開催できます。

手順の詳細については、[P.35 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」](#)を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の（アドホック）会議では、1つのコールに3名以上の人々が参加できます。

目的	必要な操作または状態の説明
<ul style="list-style-type: none"> 参加者にコールを発信して会議を開催する 既存の会議に新しい参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続コールから、[会議] ソフトキー または [会議] ボタンを押します（必要に応じて、[会議] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。 2. 参加者の電話番号を入力します。 3. コールの接続を待ちます。 4. [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを再び押して、新しい参加者をコールに追加します。 5. この操作を繰り返して、参加者を1人ずつ追加します。 <p>会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者に確認してください。</p>
<p>2つ以上の既存のコールを参加させて、会議を開催する（SCCP 電話機のみ）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1つの回線に2つ以上のコールがあることを確認します。 2. 会議に追加するコールを強調表示します。 3. [選択] を押します。 コールを選択すると、<input checked="" type="checkbox"/>のアイコンが表示されます。 4. 追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。 5. 選択したコールのいずれかで、[参加] を押します（必要に応じて、[参加] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。 <p> (注) アクティブ コールが自動的に選択されます。</p>
<p>会議に参加する</p>	<p>呼出音が鳴ったら電話機に応答します。</p>
<p>共有回線のコールに割り込み、会議を開催する</p>	<p>共有回線でコールを強調表示し、[C 割込] を押します（必要に応じて、[C 割込] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。</p> <p>P.43 の「共有回線の使用」 を参照してください。</p>
<p>会議の参加者のリストを表示する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブな会議を強調表示します。 2. [参加者] または [会議リスト] を押します。 <p>会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、 [更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議リストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会議リストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示します。 2. [削除] を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	[ドロップ] または [最後の参加者の削除] を押します。
会議への参加を終了する	切断するか、または [終了] を押します。
同じ回線上の 2 つの標準会議を結合する	<p>SCCP 電話機の場合、[参加] ソフトキーまたは [D 転送] ソフトキーを使用します。</p> <p>SIP 電話機の場合、[会議] ソフトキーまたは [転送] ソフトキーを使用します。</p> <p>この機能が使用可能かどうか、システム管理者に確認してください。</p>
会議コールのセキュリティを確認する	電話スクリーンで、「会議」の後ろに  アイコンまたは  アイコンがあるかどうかを確認します。
セキュリティ保護されていない参加者を会議から削除する	<p>会議リストを表示している状態で、 アイコンまたは  アイコンがない参加者を特定し、[削除] を押します。</p> <p>会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者に確認してください。</p>

ヒント

- 安全な会議を開催するには、セキュリティが設定されている電話機を使用する必要があります。
- セキュリティ保護されていない会議と参加者には、 アイコンが表示されます。
- 会議に複数のコールを追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールがそれぞれ異なる回線にある場合は、それらのコールを 1 本の同じ回線に転送してから **[会議]** ソフトキー、**[会議]** ボタン、または **[参加]** ソフトキーを押します（**[参加]** を使用できるのは SCCP 電話機のみ）。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開催した後でその会議を切断すると、会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから、切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。 2. 参加者に番号を配布します。 3. 会議を開催する準備ができれば、オフフックにしてダイヤル トーンを呼び出し、[ミーミー] を押します。 4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 <p>ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加することができます。</p> <p> (注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>Meet-Me 会議番号をダイヤルします（この番号は会議の開催者から提供されます）。</p> <p> (注) 会議の開催者の参加より前に会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。この場合、再びコールします。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>参加者全員が、切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機から安全な Meet-Me 会議番号にコールすると、電話機に「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、[P.47 の「安全なコールの送受信」](#)を参照してください。

インターコム コールの発信と受信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する電話機に対してインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、受信者に短いメッセージを配信できます。受信者のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。受信者が現在実行中のコール アクティビティはすべて同時に継続されます。

受信者はインターコムのアラート トーンを受信した後で、次のいずれかを選択できます。

- 発信者の通話を聞く（受信者は発信者の声が聞こえるが、発信者は受信者の声が聞こえない）。
- **[終了]** ソフトキーを押してインターコム コールを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカのいずれかを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。
- 一度に1つのインターコム回線のみ使用できます。
- あるインターコム回線がアクティブの間に別のインターコム コールに応答すると、最初のインターコム コールは終了します。
- アクティブなコールが監視または記録されているときは、インターコム コールの受信または発信ができません。



(注) Cisco エクステンション モビリティはインターコム回線をサポートしていません。

目的	必要な操作または状態の説明
事前設定したインターコムの通話相手にインターコム コールを発信する	 (インターコムの通話相手の回線) を押し、インターコムのアラート トーンが聞こえてから通話を開始します。

目的	必要な操作または状態の説明
任意のインターコム番号にインターコム コールを発信する	 (インターコム回線) を押します。インターコムの通話相手の番号または相手の短縮ダイヤル番号を入力します。インターコムのアラート トーンが聞こえてから通話を開始します。
インターコム コールを受信する	インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none">• 一方向のオーディオでメッセージを聞きます。•  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話をします。• [終了] を押します。